



校長室の窓から

《校長だより》

神奈川県立市ヶ尾高等学校

校長 増淵 広美

平成 27 年 7 月 22 日

第 4 号

夏休みを前にして ～有意義な夏休みを送るために～

◆◆1学期の振り返り

今日で1学期が終わります。4月からの約4か月間、様々な場面での市高生の活躍が感動とともに心に残っています。私語一つない整然とした始業式から始まり、多くの時間と新入生への熱い思いを込めて作り上げられた新入生歓迎会、団長の情熱と決意が新たな体育祭を予感させる応援団結団式、そして、部活動ではあらゆる部や同好会が日々練習や研鑽に励み、多くの実績と感動を残してくれました。また、きちんと揃えられた体育館入口の上履き、部活で行っている自発的な清掃、地域でのボランティア活動など、何気ない日常の中で輝く市高生の姿も枚挙に遑がありません。タウン誌でも、ここ数週間、毎週のように市高生の活躍が取り上げられています。

一方、こういう節目をとらえて自らを振り返ることはとても大切です。頑張ったこと、学んだこと、身についたこと、まだまだこれからということなどいろいろあると思いますが、振り返ることで何かしらの成長を感じることができると思います。



◆◆評価は次に生かしてこそ価値がある

今日は、皆さんに通知表が渡されます。言わずもがなですが、通知表は、1学期間の学習状況を本人と家庭に伝えるとともに、今後の学習に役立てるために作成されたものです。ですから、その結果に一喜一憂するに留まらず、この間の自らの取組を振り返り、今後どうしていくかをしっかり考え、実行していくことで、一人ひとりが持っている力や可能性をどんどん拓いていってほしいと思います。

皆さんは、学校にいる間だけではなく、今後社会に出てからも、否が応でもいろいろな場面で評価を受けることになります。しかし、評価を懼れること

なかれ。結果だけに拘ればとても苦しいものにもなりかねませんが、現状やその結果を前向きに受け止め、次にどうつなげていくかを真剣に考え、明確な目標と計画を持って臨めば、評価は成長の糧、さらなる飛躍の鍵となります。評価は、次に生かしてこそ価値があります。是非、この夏休みに、得意科目は伸ばし、課題のある科目は克服してください。その際、始業式でも話しましたが、大きな目標だけでなく、その目標に近づくために、頑張ればクリアできる小さな目標を立て、それをクリアできたらまた次の目標を立てるというスモールステップを大切にしてください。小さな達成感の積み重ねが意欲につながり、その意欲が自信につながります。

◆◆夏休みだからこそできること

明日から、いよいよ夏休みが始まります。

1年生にとっては高校での初めての夏休み。高校入試を控え、ひたすら勉強に励んだ昨年とはだいぶ違うと思います。2年生にとっては部活動や学校行事等、学校の様々な場面で3年生からのバトンを引き継ぎ、中心となって動くことも多いと思います。そんな中でも、自分の進路を見据え、その実現のために着実な基盤を固めておいてください。時間があれば、いくつかの大学を見学してみてください。必ずモチベーションがあがります。3年生にとっては進路実現に向けた正念場。決して妥協することなく、徹底的に第1志望にこだわってください。ある予備校の講師の方のお話だと、受験生の夏休みの勉強時間は、GMARCHは10時間、早慶難関大学は12時間、合格者は平均して8時間は勉強しているそうです。

33日間ある夏休みだからこそできること、逆に言えば、夏休みでなければできないことにしっかり時間をかけて有意義な夏休みを過ごしてください。

●● 北里大学看護学部特別出張講座「生命の誕生」体験講座 ●●

7月15日(水)15時から約1時間、多目的教室にて北里大学看護学部特別出張講座「生命の誕生」体験講座が行われました。大学からは、先生2名、助産師を目指す学生10名が来校。本校からは、1年生から3年生まで合計22名(男子13名女子9名)の生徒が参加。大学の先生による講義「生まれること」の後、グループに分かれて赤ちゃん人形を抱いたり、擬似胎動教材「たいじのきもち」を用いて胎動を擬似体験したりしました。また、擬似胎動教材を入れた袋を首から提げ、大きくなったお腹で足元が見えない妊婦を体験。その後のグループワークでは、いのちの尊さ、愛おしさ、親御さんへの感謝、将来のパートナーへの気遣いなどが話題になったほか、改めて自分がかげがえのない存在であること、子どもを産み育てるといふこと、親になるということなどにも話題が及び、充実した講座となりました。事後のアンケートにも素直な感動のことがたくさん書かれていました。



赤ちゃんを抱いたり、胎動の擬似体験をしたりして感じたことを話し合う

●ファッションショー

6月26日(金)の放課後、本校体育館でファッション部の発表がありました。今回は、3学年合同で行う今年度最初で最後のショーです。テーマは「Nature」。さらに、4つの小テーマ「forest」「sky」「sea」「fire」に分かれ、「forest」では森の花や緑を、「sky」では雲のようなやわらかさと空の表情を、「sea」では海の生物そして爽やかさを、「fire」では炎の熱さや情熱をイメージしてデザインを完成させ、それぞれのテーマに合った服を制作。ファッション部は、年に4回の校内発表のほか、12月に校外で行われるファッションフェスティバルにも参加。現在は、文化祭に向けて準備を進めています。文化祭でのショーが楽しみです。



ファッションショー
テーマは「sea」

●ダンス部の発表

6月29日(月)の放課後、同じく本校体育館で、今年度1回目のダンス部の校内発表がありました。最初に1年生による3つのジャンルの発表。これは例年ダンス部の1年生が初めに練習する伝統の振り付けとのこと。1年生にとっては初めての舞台でしたが、連日の猛練習の甲斐があり、緊張の中にも元気いっぱいのステージでした。



ダンス部全員でのエンディング

続いて2年生のジャンルの発表。振り付けはもちろん、音楽、構成、衣装、全てを皆で話し合っって作り上げた作品です。途中でCDトラブルが発生し、部員は替えのCDを取りに走り、観客の生徒はMCにあわせて応援の声を送るなど、はらはらする場面もありましたが、ダンス部のチームワークのよさと市高生の温かさを感じさせる一コマでした。最後は全員でのエンディング。41期と42期の部員による新しいスタートを飾る最高のステージになりました。

●バスケット部 FRIDAY NIGHT

7月10日(金)(17時30分～20時45分)、地域貢献の一環として、本校体育館を開放し、地域のミニバスケットチーム(山内ミニバスケットチーム VS 荏田南フレンズ)を招き、交流試合を行いました。小学生、高校生のほか応援保護者、コーチ、顧問などや約50名が参加。今回初めてミニバスケットの試合を観戦しましたが、選手のうまさには驚きました。小学生選手の今後



FRIDAY NIGHT 記念写真

が楽しみです。数年後、本校バスケットボール部で活躍する選手が現れることを期待しています。

●熱中症予防講習会

7月10日(金)13時30分から約1時間、部活動における安全教育の一環として、部員・顧問を対象に、夏季に発生しやすい熱中症の予防講座を開催しました。当日の参加者は生徒、職員合わせて約80名(うち生徒は24の部から66名)。講師には、大塚製薬株式会社(横浜支店横浜営業所)の神田悠司氏(健康管理士一般指導員・熱中症予防指導員)をお招きし、「知って防ごう熱中症」と題して、パワーポイントを使ったとてもわかりやすい講習会でした。



熱中症予防対策講座

●野球部の夏到来!

7月11日(土)正午より横浜スタジアムにおいて、第97回全国高等学校野球選手権神奈川大会の開会式が行われました。本校



開会式 入場行進

は36番目の入場(今大会は186チームが出場)。開会式に備え、毎日昇降口前で熱心に行進の練習をしていましたが、この日もどのチームよりも高らかに腕を上げ、勢いのある立派な行進でした。今年、大正4(1915)年に始まった前身の全国中等学校優勝野球大会からちょうど100年、戦後70



対 横浜翠嵐高校(等々力球場)

年の節目の大会です。

本校の第1回戦(7月12日(日)等々力球場)の対戦相手は横浜翠嵐高校。機動力と着実な試合運びで接戦を3:2で勝ち取りました。2回戦の対上

溝高校戦では、あと1点が及ばず2:3で惜敗。

3年生は引退しますが、部員一人ひとりがこの経験を次につなげてくれることと思います。

●球技大会

7月16日(木)、17日(金)の2日間にわたり、球技大会が行われました。生憎の雨で、サッカーは男女ともに卓球に、1日目にできなかった男女混合バレーは2日目に急遽トーナメント方式に替えてどうにか行うことができましたが、ドッジボールは2日間ともほとんど実施できませんでした。しかし、どのクラスもお揃いのTシャツやポロシャツでクラス一丸となつての応援。ものすごい盛り上がりでした。市高生は本当に仲がよいです。